新聞記事 (1)

恵寿総合病院で展示会

【2016.8.2（火）北國新聞_石川北面】

新聞　2016年（平成28年）8月2日（火曜日）　北　（24）

石川北

車いす目線で七尾撮影

樋屋さん写真展　バリアフリー紹介

七尾市内の観光施設のバリアフリー状況を調査する樋屋善一さん(62)の写真展「車いす目線から巡る七尾の旅」（北國新聞社後援）は1日、同市富岡町の恵寿総合病院で始まった。JR七尾駅から能登食祭市場まで電動車いすで移動しながら、商店主との触れ合いもカメラに収め、温かな人情とバリアフリー状況を示している。一本杉通りの菓子店やしょうゆ店、そうそく店にも立ち寄り、「店の中は狭いが、温かく迎えてくれる」などと、写真に一言を添えている。展示は12日まで。

観光施設のバリアフリー状況を調査した樋屋さん（右）の写真展＝七尾市富岡町の恵寿総合病院

戦争証言DVD寄贈開始

珠洲市青年団協　能登地区小中学校に

珠洲市青年団協議会は、昨年の終戦70年を機に制作した、能登の戦争体験者の映像証言集DVD「伝えたい声・残したい思い～能登の戦争体験者～」の寄贈を、能登地区の小中学校で始めた。珠洲市飯田小には、協議会の坂本洸十会長らが訪れ、大門発校長にDVDを手渡した。坂本会長は「71年間平和だったのは、先人の声があったからだと感じ、この声を残したいと思った。活用してほしい」と話した。

DVDは、珠洲、輪島、能登、穴水、志賀、中能登の各市町の小中学校や図書館、県立図書館に寄贈する。珠洲市の旧上黒丸小では上映会が開かれた。

能登の里山里海　高校生が取材

七尾で研修始まる

県と能登9市町などでつくる世界農業遺産活用実行委員会の「能登の里山里海人聞き書き研修」は1日、七尾市

日本の婚礼衣装に身を包む木モントレーの高校生＝七尾市一本杉通りの花嫁のれん館

米高校生が婚礼衣装に

七尾で花嫁のれんくぐり

七尾市の七尾ロータリークラブ（RC）と姉妹提携する米モントレーRCの短期青少年交換プログラムで、モントレーの高校生4人が1日、同市一本杉通りの花嫁のれん館を訪れ、日本の婚礼衣装に身を包んで花嫁のれんくぐりを体験した。

花嫁のれん館では花嫁のれんくぐりを体験を実施しており、スタッフの着付けで白むくと角隠し姿になったモントレーの女子高校生が花嫁のれんをくぐった。男子高校生は紋付きはかま姿で「花嫁」を迎えた。一本杉通りでは抹茶ひきや匂い袋づくりも体験した。

4人は7日まで、鵬学園高での交流会や石崎奉燈祭りなどに参加する。

2016 年 8 月 1 ～ 12 日、七尾市富岡町の恵寿総合病院・3 階リハビリ室前で、昨年度に引き続き、「車いす目線から巡る七尾の旅」の展示会の開催させていただきました。